



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社Faber Company

上場取引所 東

コード番号 220A URL <https://www.fabercompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 稲次 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 安藤 弘哲 TEL 03 (5545) 5230

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	2,055	9.6	206	△27.1	212	△24.8	142	△26.0
2025年9月期第3四半期	1,874	9.1	283	2.8	283	4.7	193	4.7

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 101百万円（△48.7％） 2025年9月期第3四半期 197百万円（7.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	52.11	—
2025年9月期第3四半期	70.71	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	2,957	2,419	81.4
2025年9月期	2,879	2,381	82.7

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 2,407百万円 2025年9月期 2,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,817	10.0	300	△20.2	306	△19.3	210	△20.1	76.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) XINOBIX株式会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期3Q	3,000,000株	2025年9月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	253,500株	2025年9月期	260,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期3Q	2,743,524株	2025年9月期3Q	2,731,029株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、本四半期決算短信とあわせて、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(連結範囲の重要な変更)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で物価の上昇に加え、米国の通商・関税政策の動向や中東情勢の影響もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業展開を行うデジタルマーケティング関連市場は、企業の旺盛な投資意欲を背景に、引き続き堅調な推移となりました。特に生成AIの実ビジネスへの利活用が急激に進展しており、人間とAIの共存共栄を図るためにも、人材の確保や育成、再教育（リスキリング）がますます重要になると考えております。

このような経営環境のもと、当社グループは営業力の強化による顧客基盤の拡大等を通じ、堅調な業績にて推移しました。

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	1,874,457	2,055,101	180,643	9.6
売上総利益	1,298,389	1,402,197	103,808	8.0
販売費及び一般管理費	1,015,247	1,195,888	180,640	17.8
営業利益	283,141	206,309	△76,831	△27.1
経常利益	283,189	212,990	△70,198	△24.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	193,123	142,978	△50,145	△26.0

セグメントごとの経営成績は、以下の通りであります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、従来の「ミエルカ事業」の単一セグメントから、「ミエルカ事業」、「ディストリビューション事業」の2区分に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

(ミエルカ事業)

ミエルカ事業は、豊富なサービスラインナップにより企業のデジタルマーケティング活動のワンストップソリューションを目指し、デジタルマーケティングの生産性を向上させる自動化ツールとして、企業のWebサイトへの流入最大化を支援する「ミエルカSEO」、AI検索時代のデジタルマーケティングを支援する「ミエルカGEO」、UI/UX改善によるコンバージョンの最大化を支援する「ミエルカヒートマップ」、Googleマップ等を用いた店舗集客を最大化する「ローカルミエルカ」、即戦力となるフリーランス又は副業のデジタルマーケティング人材を企業に提供する「ミエルカコネクト」、特に高い専門性が求められる課題に対する支援を行うソリューションサービス等を提供しております。

当第3四半期連結累計期間では、生成AIに関連する機能面・サービス面の改善に加え、大手・中堅企業への組織的な販売活動、既存顧客へのクロスセルに注力した結果、ミエルカ事業の売上高は2,038,639千円、営業利益は325,081千円となりました。

(ディストリビューション事業)

ディストリビューション事業は、当社がミエルカ事業を通じて培ってきたセールス&マーケティング力を基盤としながら、外部パートナーが有するバックオフィス系サービス等の販売・導入支援を行う「DXミエルカ」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間では、採用費を中心とした先行投資を行い、今後の収益機会の創出に向けた体制構築を優先した結果、ディストリビューション事業の売上高は16,462千円となり、営業損失は118,772千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,458,324	2,530,541	72,217	2.9
固定資産	421,536	426,637	5,100	1.2
資産合計	2,879,861	2,957,178	77,317	2.7
流動負債	495,322	527,643	32,321	6.5
固定負債	2,767	10,017	7,250	262.0
負債合計	498,089	537,660	39,571	7.9
純資産合計	2,381,771	2,419,518	37,746	1.6

- ・流動資産は、現金及び預金の減少22,353千円、売掛金の増加10,449千円、その他に含まれる前払費用の増加63,476千円等により合計72,217千円増加。
- ・固定資産は、のれんの増加47,363千円、繰延税金資産の増加25,506千円、上場有価証券の時価評価等に伴う投資有価証券の減少70,722千円等により合計5,100千円増加。
- ・流動負債は、未払金の増加43,220千円、前受金の増加61,359千円、未払法人税等の減少62,355千円等により合計32,321千円増加。
- ・固定負債は、長期借入金の増加7,250千円により合計7,250千円増加。
- ・純資産合計は、その他有価証券評価差額金の減少46,216千円、利益剰余金の増加60,778千円、非支配株主持分の増加12,481千円等により合計37,746千円増加。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2026年9月期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124,496	2,102,143
売掛金	250,095	260,545
その他	83,807	167,941
貸倒引当金	△76	△88
流動資産合計	2,458,324	2,530,541
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	3,623	6,756
有形固定資産合計	3,623	6,756
無形固定資産		
ソフトウェア	322	351
のれん	64,314	111,677
無形固定資産合計	64,636	112,028
投資その他の資産		
投資有価証券	301,082	230,360
繰延税金資産	11,468	36,975
その他	41,779	40,517
貸倒引当金	△1,053	—
投資その他の資産合計	353,276	307,852
固定資産合計	421,536	426,637
資産合計	2,879,861	2,957,178
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,316	57,426
未払金	84,570	127,790
未払法人税等	76,300	13,946
前受金	147,524	208,884
その他	123,609	119,597
流動負債合計	495,322	527,643
固定負債		
長期借入金	—	7,250
繰延税金負債	2,767	2,767
固定負債合計	2,767	10,017
負債合計	498,089	537,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	248,828	254,100
利益剰余金	2,088,541	2,149,320
自己株式	△50,388	△49,128
株主資本合計	2,386,981	2,454,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,399	△53,616
為替換算調整勘定	2,189	6,359
その他の包括利益累計額合計	△5,209	△47,256
非支配株主持分	—	12,481
純資産合計	2,381,771	2,419,518
負債純資産合計	2,879,861	2,957,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,874,457	2,055,101
売上原価	576,068	652,904
売上総利益	1,298,389	1,402,197
販売費及び一般管理費	1,015,247	1,195,888
営業利益	283,141	206,309
営業外収益		
受取利息	78	2,577
受取配当金	—	2,947
その他	158	1,511
営業外収益合計	236	7,036
営業外費用		
支払利息	—	37
為替差損	188	317
営業外費用合計	188	354
経常利益	283,189	212,990
税金等調整前四半期純利益	283,189	212,990
法人税、住民税及び事業税	90,065	69,752
法人税等合計	90,065	69,752
四半期純利益	193,123	143,238
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	259
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,123	142,978

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	193,123	143,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,567	△46,216
為替換算調整勘定	△1,385	4,169
その他の包括利益合計	4,181	△42,046
四半期包括利益	197,305	101,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,305	100,932
非支配株主に係る四半期包括利益	—	259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結範囲の重要な変更)

中間連結会計期間において、XINOBIX株式会社を株式の取得により連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、中間連結会計期間に貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書計上額 (注)
	ミエルカ事業	ディストリビュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,038,639	16,462	2,055,101	—	2,055,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,038,639	16,462	2,055,101	—	2,055,101
セグメント利益又は損失(△)	325,081	△118,772	206,309	—	206,309

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より「ディストリビューション事業」の重要性が増したことから、従来の「ミエルカ事業」の単一セグメントから、「ミエルカ事業」、「ディストリビューション事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成することは実務上困難なため、記載しておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,825千円	3,607千円
のれんの償却額	3,654千円	8,118千円